

# 会告

- 国際溶接学会 (IIW) 2014 年次大会 (第 67 回) のご案内
- 一般社団法人溶接学会第 82 回通常総会並びに平成 26 年度春季全国大会開催通知
- 平成 26 年度溶接学会春季全国大会シンポジウムのご案内
- 春季全国大会講演概要<94 集>の頒布について
- 全国大会運営委員会からのお知らせ
- 平成 26 年度秋季全国大会  
インターネットによる「研究発表」講演申込受付及び原稿提出受付について
- 平成 26 年度秋季全国大会「研究発表」講演募集
- 平成 26 年度秋季全国大会ポスター発表募集
- 溶接学会全国大会講演分類
- 全国大会講演概要原稿執筆要領
- Guide to Preparation of manuscript for the National Meeting
- 全国大会講演プログラム校正の電子化について
- 全国大会における液晶プロジェクターの利用について
- 平成 26 年度秋季全国大会フォーラム講演論文募集
- WEB 掲載の溶接学会論文集 31 巻 (平成 25 年) の印刷物の購入について

## 国際溶接学会 (IIW) 2014 年次大会 (第 67 回) のご案内

本年度 IIW 年次大会が下記のとおり開催されますのでご案内いたします。

日本からの参加者は、IIW 加盟団体である日本溶接会議 (JIW) の参加承認を受けてください。JIW は溶接学会並びに日本溶接協会にて構成されており、参加には両学協会の会員であることが必要です。

IIW への参加登録申込みは、直接 <http://www.iiw2014.com/> にアクセスし、ご登録下さい。

IIW への参加登録と同時に、JIW 宛申込用紙を、JIW 事務局宛お送りください。(JIW 宛申込用紙は、溶接学会ホームページから入手できます。)

なお、IIW 参加費とは別に下記の「JIW 参加費」が必要です。(ただし、IIW 役員・委員長、Delegate、学生は免除されます。)

**JIW 参加費：**中立機関 ¥10,000、企業 ¥30,000

**会 場：**ソウル (韓国)

(Sheraton Grande Walkerhill & W Seoul Walkerhill)

**会 期：**2014 年 7 月 13 日(日)～18 日(金)

公開研究集会(International Conference)

主題「Advanced Technology in Welding and Joining for Heavy, Automotive and Electronics Industries」  
(17 日及び 18 日)

**JIW 事務局：**一般社団法人溶接学会内 担当 石丸

E-mail: [ishimaru@tg.rim.or.jp](mailto:ishimaru@tg.rim.or.jp)

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20

TEL : 03-5825-4073

FAX : 03-5825-4331

## 一般社団法人溶接学会第 82 回通常総会並びに平成 26 年度春季全国大会開催通知

第 82 回通常総会並びに平成 26 年度春季全国大会を下記の通り開催いたします。

### 【第 82 回通常総会】

**日 時：**平成 26 年 4 月 23 日(水) 10:00～12:00

**場 所：**東京ビッグサイト 会議棟 6 階

**議 題：**平成 25 年度事業報告、平成 25 年度決算報告、  
平成 26 年度事業計画案、平成 26 年度収支予算案

### 【平成 26 年度春季全国大会】

**期 日：**平成 26 年 4 月 22 日(火)、23 日(水)、24 日(木)

**場 所：**東京ビッグサイト 会議棟 6 階

東京都江東区有明 3-11-1

講演会プログラムはホームページに掲載いたします。

<http://weld.jp/index.html>

**全国大会参加費：**(全国大会参加受付は当日のみです)

正員・賛助員 5,000 円(不課税) 学生員 2,000 円(不課税)

非会員 (学生) 3,000 円(税込)

非会員 (学生以外) 10,000 円(税込)

## 平成26年度溶接学会春季全国大会シンポジウムのご案内

- 1.主 題:**「省エネを実現する異材接合技術の最新動向」  
**2.座 長:**西川 宏 (大阪大学), 山岡 弘人 (株IHI)  
**3.日 時:**平成26年4月22日(火) 14:15~17:00  
**4.場 所:**東京ビッグサイト 会議棟6階 全国大会第1会場  
 (607 会議室)  
 東京都江東区有明3-11-1

### 5.講演プログラム

(基礎技術)

(1) 14:15~14:40

「金属とCFRPのレーザー接合技術」

大阪大学 接合科学研究所

○片山 聖二, 川人 洋介, 鄭 光云

(2) 14:40~15:05

「ブレーシングを用いた異材接合」

東京工業大学 大学院 機械宇宙システム専攻

○鈴木 暁男

(3) 15:05~15:30

「爆発圧着を利用した異材接合」

熊本大学 バルスパワー科学研究所

○外本 和幸

休憩 (15:30~15:45)

(応用事例)

(4) 15:45~16:10

「スチールとアルミニウム合金のFSW異材接合ハイブリッドサブフレームの開発」

(株)本田技術研究所

○佐山 満, 宮原 哲也, 大浜 彰介, 畑 恒久, 小林 努  
 本田技研工業(株)

矢羽々 隆憲

(5) 16:10~16:35

「開発FCWを用いたアルミニウム合金と鋼の異種金属接合」

(株)神戸製鋼所 アルミ・銅事業部門 技術部 接合技術研究室

○海読 一正, 松本 剛, 橋村 徹, 杵淵 雅男

(6) 16:35~17:00

「爆発圧着クラッド鋼の産業応用」

旭化成ケミカルズ(株) 化学事業部 化学技術開発部

○大塚 誠彦

## 春季全国大会講演概要(94集)の頒布について

下記要領により平成26年度春季全国大会講演概要集を頒布いたしますので、希望者は要領にしたがいお申込み下さい。

### 記

- 1. 頒 価:** 6,000円(税込) / 冊  
 (平成26(2014)年春季全国大会(第94集)販売分より価格を改定いたします)  
**2. 申込要領:** ①郵送の場合は、送料(500円程度)加算します。  
 ②2冊以上まとめて郵送する場合は現品発送と同

時に代金および郵便料金合計金額を請求いたしますので折返しご納入下さい。この場合申込者名および送り先を明記した申込書(任意)によりお申込下さい。FAXでも結構です。

③直接購入の場合代金ご持参の上事務局までご来所下さい。また大会当日受付でも頒布いたします。

**3. 頒布開始:** 平成26年3月中旬頃から

## 全国大会運営委員会からのお知らせ

平成26年度春季全国大会より新しいサービスを開始いたします。

当委員会では、学会員の皆さんにとってより魅力のある全国大会を目指し、議論を重ねて参りました。

その第一弾は、平成25年度秋季全国大会より開始しました「ポスターセッション」です。若手会員の会とのコラボにより、従来の口頭発表に加えてポスター発表という発表スタイルの選択肢を新たに設けました。

その第二弾として、平成26年度春季全国大会より、座長による推薦論文制度を改革いたします。従来、本会論文集への投稿を推薦するだけに止まっていたが、論文査読・審査委員会とのコラボにより、1年間有効の「エクスプレス」投稿の特典を贈呈することになりました。

「エクスプレス」投稿とは、通常の査読期間を大幅に短縮し、2週間(休日を除く)以内での掲載可否の決定を目指すものです。従来に比べてスピーディーに投稿論文を本会論文集へ掲載できる絶好

のチャンスです。

本サービスは、全国大会での全ての口頭発表が対象になります。これに伴い、全てのセッションごとに座長に加えて審査員を配置し、優秀な発表を厳選いたします。推薦されました口頭発表につきましては、後日、学会事務局より発表者へ推薦の通知とともに、「エクスプレス」投稿の特典(1年間有効)が贈呈されます。現在のところ年間20件程度の推薦を予定しています。なお、35歳以下の優秀研究発表賞の受賞者には自動的に「エクスプレス」投稿の特典(1年間有効)も贈呈されます。

当委員会では、「いいね!全国大会」をスローガンに、新たに第三弾、第四弾の魅力あるサービスを考えて参りたいと思います。

平成26年度春季全国大会(平成26年4月22日~24日、東京ビッグサイト)は、2014国際ウエルディングショーとの併催です。

魅力増進中の全国大会へぜひお運びください。お待ちしております。

## 平成26年度秋季全国大会 インターネットによる「研究発表」講演申込受付及び原稿提出受付について

本会ホームページ「全国大会の案内」からお申し込み下さい。なお、申込及び原稿提出はインターネット利用のみとなりますのでご注意ください。

研究発表に関する募集要項、講演分類、原稿執筆要領（和文、英文）、講演プログラム校正の電子化、フォーラム論文募集、液晶プロジェクターの利用について等講演及び大会に関する情報については、本誌会告及び本会ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

講演申込及び原稿提出につきましては、受付期間が下記のように限定されておりますのでご注意ください。

**申込受付期間：4月25日12:00～5月27日14:00**

**原稿提出期間：6月24日12:00～7月15日14:00**

PDF原稿を作成する際には、PDFをプリントアウトする等、文字、写真等の品質をあらかじめ確認して下さい。

なお、講演概要は従来通りJ-STAGEにて公開されますので、公

開を希望されない方は、非公開希望の旨、あらかじめお申し込み時に学会事務局まで申し出て下さい。

(注意事項)

①上記申込受付及び原稿提出期間を過ぎますと受付システムの利用はいっさい不可能となります。時間に余裕を持ってご利用ください。なお、詳細な情報は学会HPにて確認してください。

②原稿のファイル形式は、PDF形式のみ受付ます。PDFのファイルサイズの上限は、3MBです。

PDFファイル作成のためには、PDFファイル作成専用ソフト Adobe Acrobat(4.0以上のバージョン)をご利用下さい。無料配布ソフト Adobe Reader ではPDFファイル作成ができませんので、ご注意ください。

③PDF原稿提出時に申込時のパスワードが必要になりますので忘れずに保管してください。

## 平成26年度秋季全国大会「研究発表」講演募集

申込者各位におかれましては、くれぐれも期日を厳守くださるようお願いいたします。

原稿締切から概要集発行までぎりぎりの時間しかありませんので、期限切れ及び不備な原稿は不意ながら掲載をお断りし、その部分白紙のまま発行することになりますのであらかじめご了承ください。また、プログラム編成後の申込取消は修正不可能ですのでプログラム及び概要集にはその旨記載され、その部分ブランクのまま発表されますのでご了承ください。



平成26年度秋季全国大会を下記のとおり開催いたしますから、この大会で「研究発表」講演をご希望の方は申込要領に従ってお申込ください。

**開催期日：**平成26年9月10日(水)、11日(木)、12日(金)

**開催場所：**黒部市宇奈月国際会館「セレネ」(富山県黒部市)

### —講演申込募集—

#### 1. 申込期間：

平成26年4月25日(金)12:00～5月27日(火)14:00

#### 2. 講演資格：

講演者は正員であること。連名の場合、講演者は正員(学生員も認める)でなければなりません(共著者はその限りではありません)。

#### 3. 申込方法：

学会ホームページへアクセスして、画面上からお申込み下さい。また、下記講演登録料をご納入ください。同一大会での連続報告は2報までですのでご注意ください。

◎講演登録料：1件について8,000円をご納入ください。送金

は銀行振込でお願いいたします(振込口座は申込受付時にメール送信いたします)。登録料は講演申込が取り消されても返却いたしませんのでご了承ください。

◎受付済通知：受付番号が発行されますのでパスワードとともに保管しておいて下さい。

※大会参加費は下記料金を大会当日別途申し受けますのでご留意下さい。なお、講演概要集(6,000円・税込)は別売となります。(円)

| 会 員 区 分 |      | 講演登録料      | 大会参加費        |
|---------|------|------------|--------------|
| 個人会員    | 正 員  | 8,000 (税込) | 5,000 (不課税)  |
|         | 学生員  |            | 2,000 (不課税)  |
| 賛 助 員   |      | 発表不可       | 5,000 (不課税)  |
| 非 会 員   | 学生以外 | 発表不可       | 10,000 (税 込) |
|         | 学 生  |            | 3,000 (税 込)  |

#### 4. 原稿(PDF)提出期間：

平成26年6月24日(火)12:00～7月15日(火)14:00

5. 講演概要原稿：本会「全国大会講演概要原稿執筆要領」に従って作成してください。

6. 発表時間：講演10分、討論5分

7. 講演申込の確認：申込を受付けますとただちに受付番号を送信いたします。

#### 8. 講演申込の取り消しについて

講演申込締切り後ただちにプログラム編成を行いますプログラム編成後の取り消しは他の講演申込者に多大の迷惑を及ぼしますのでくれぐれも慎んで下さい。

※PDF(原稿)作成の場合は、事前に解像度を確認してください。

## 平成 26 年度秋季全国大会ポスター発表募集

### 一 溶接学会員のみなさん、 学界、業界を問わず奮ってご参加ください

- ポスターセッションは Plenary で行い、多くの参加者とディスカッションが可能
- 35 歳以下の研究者を対象とした優秀ポスター発表賞を溶接学会会長名で表彰
- 表彰者を学会誌「溶接学会誌」に紹介

当学会では、多くの研究者の方々に講演大会でのディスカッションの機会を提供するために、ポスターセッションを開催します。実施方法は以下の通りです。

開催期日：平成 26 年 9 月 11 日(木) (全国大会 2 日目)  
開催場所：黒部市宇奈月国際会館「セレネ」(富山県黒部市)

#### 一 発表申込募集

1. 申込期間：平成 26 年 4 月 25 日(金) 12:00~7 月 15 日(火) 14:00 (一般講演とは申込期間が異なります)  
ただし、会場の制約により、申込数が既定数(40 件)に達した場合は期限までに締め切る可能性があります。
2. 発表資格：発表者は会員(正会員、学生員)であること。年齢制限はありませんが、優秀ポスター発表賞の審査対象は 35 歳以下の発表者となります。
3. 申込方法：学会ホームページへアクセスして、画面上からお申込みください。一般講演と同じ内容で発表される場合は、講演と同時に申込みが可能です。お申し込みの際に、次の項目が必要となりますので、事前にご準備ください。  
(ア) 連絡者情報(氏名・ふりがな、所属、郵便番号、住所、電話番号、E-mail アドレス)

- (イ) 発表情報(日本語題目、英語題目)
- (ウ) 発表者情報(日本語氏名・ふりがな、英語氏名、所属、会員番号)
- (エ) 要旨(全角 140 字以内)およびキーワード
4. 発表概要原稿：特にご準備いただくことはありませんが、上記 3 のうち、題目、発表者情報(氏名と所属)、キーワード、要旨をポスターセッション概要として全国大会講演概要集に掲載いたします。
5. ポスター発表登録料：8,000 円(税込)(ただし、同一内容にて一般講演での発表登録もした方は講演登録料 8,000 円のみのお支払い)
6. 発表申込みの確認：申込みを受け付けますとただちに受付番号を発行し、送信いたします。ただし、既定数(40 件)に達した場合は、ポスター発表のみでお申込の方を優先して受付いたします。申込期間終了後に採択結果をあらためて通知いたしますのでご了承ください。
7. 発表申込みの取り消しについて：申込みメー切後ただちにプログラム編成と概要集作成を行います。メ切後の取り消しは他の発表者に多大の迷惑を及ぼしますのでくれぐれも慎んでください。発表申込みが取り消されても登録料は返却いたしませんのでご了承ください。

#### 一 発表方法

1. 発表時間：Plenary のポスターセッションは 2 時間程度です。詳細は大会プログラムに記載されます。
2. ポスター形式：ポスターのサイズは受付後に別途ご連絡いたします。なお、ポスターボードの前には、原則、机は置けません。
3. ポスターの展示：大会 2 日目のお昼休み終了時までにはプログラムに記載されたポスター番号のボードに展示してください。また、Plenary ポスターセッション終了時にポスターを撤去してください。

## 溶接学会全国大会講演分類

| 分類記号・番号       | 内 容                                | 備 考                                | 分類記号・番号           | 内 容                         | 備 考 |
|---------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------------|-----------------------------|-----|
| I             | 溶接プロセス(含機器)                        |                                    | IV                | 新材料接合部の諸特性                  |     |
|               | 1 溶融溶接(1):アーク溶接, ガス溶接              |                                    |                   | 7 セラミックス                    |     |
|               | 2 溶融溶接(2):高エネルギービーム溶接              |                                    |                   | 8 複合材料                      |     |
|               | 溶接技術の新しい展開                         |                                    |                   | 9 機能材料                      |     |
|               | 3 新溶接技術                            |                                    |                   | 10 高分子材料                    |     |
|               | 4 新熱源開発, 同応用                       |                                    |                   | 11 その他:新素材開発                |     |
| 5 加工技術        |                                    | 1 溶接・接合部の強度・破壊と設計                  |                   |                             |     |
| 6 その他         |                                    | 2 溶接・接合部の応力                        |                   |                             |     |
| II            | 制御・システム工学, 溶接・接合技術の各産業分野への展開       |                                    |                   | 3 溶接・接合部の静的強度               |     |
|               | 1 センサー, モニタ, 計測技術                  |                                    |                   | 4 破壊靱性, き裂(発生, 進展)          |     |
|               | 2 インプロセス制御技術, 品質制御技術               |                                    |                   | 5 疲労強度, 疲労き裂                |     |
|               | 3 ロボット工学・技術                        |                                    | 6 環境強度, クリープ      |                             |     |
|               | 4 自動化, システム化技術                     |                                    | 7 溶接・接合設計(強度計算など) |                             |     |
|               | 5 CAD, CAM, FA                     |                                    | 8 信頼性, 安全性評価      |                             |     |
|               | 6 製品開発                             |                                    | 9 劣化診断, 寿命予測      |                             |     |
|               | 7 生産, 製造, 施工, 組立など                 |                                    | その他               |                             |     |
|               | 8 その他:新技術, 新システムなど                 |                                    | V                 | 1 圧接, ろう接プロセス               |     |
|               | 品質保証, 施工管理                         |                                    |                   | 2 圧接(1):抵抗溶接                |     |
|               | 9 品質保証, 工程設計など                     |                                    |                   | 3 圧接(2):摩擦, 超音波, 爆接         |     |
|               | 10 安全・衛生, 教育, 訓練                   |                                    |                   | 4 固相接合, 拡散接合                |     |
| 11 非破壊検査, 同機器 |                                    | 5 接着, ウエルドボンド                      |                   |                             |     |
| 12 その他:生産設備など |                                    | 6 ろう接:ろう付, はんだ付                    |                   |                             |     |
| III           | 金属材料の溶接・接合部, 表面改質部の特性(含鋼材, 溶接材料など) |                                    |                   | 7 マイクロ接合                    |     |
|               | 1 溶接・接合部, 表面改質部の物理化学               |                                    |                   | 8 機械的接合:リベット, ボルト継手など       |     |
|               | 2 溶接・接合部, 表面改質部の組織及び機械的性質          |                                    |                   | 9 その他:新接合技術                 |     |
|               | 3 耐食性, 耐環境性                        |                                    |                   | 表面改質及び熱加工プロセス(含機器)          |     |
|               | 4 低温割れ, 高温割れ, 応力腐食割れなど             |                                    |                   | 9 成膜(1):肉盛, 溶射, めっき         |     |
|               | 5 気孔, スラッグ巻き込みなどの欠陥                |                                    |                   | 10 成膜(2):PVD, CVD, イオンミキシング |     |
| 6 その他         |                                    | 11 成形:焼結, HIP, 鋳ぐるみなど              |                   |                             |     |
|               |                                    | 12 切断, ガウジング, 穴あけ加工など              |                   |                             |     |
|               |                                    | 13 その他:焼き入れ, グレージング, 封孔処理, 新加工技術など |                   |                             |     |

## 全国大会講演概要原稿執筆要領 — PDF 原稿のみとなります。—

テンプレート及び書式が学会ホームページよりダウンロードできます。

講演概要は、提出された原稿をそのまま B5 版 (約 2/3) に縮写しオフセット印刷しますので、原稿は必ず下記要領に従ってください。

なお、この要領に記載していない事項については、「溶接学会投稿規定及び執筆要領」に従ってください。

### 1. 原稿用紙

本会所定 (又は、指定フォーマット) のものに限り、1 ページ目は、題目、勤務先 (研究場所)、氏名、英文タイトル、英文著者名、キーワード、本文などの記入用の用紙 (A) を使用してください。

### 2. 原稿の長さ

題目 (和英両文)、勤務先、著者名 (和英両文)、キーワード (和英両文) 本文、図表及び写真を含めて、原稿用紙 2 枚 (A, B) にできるだけ余白を残さずに書いてください。字数は、40 字×37 行×2 枚=2,960 字 (タイトル等に約 360 字、本文は約 2,600 字) です。

### 3. 原稿の書き方

#### イ. 題目、勤務先、著者名、キーワード

原稿用紙 (A) の所定の場所にそれぞれのレイアウトを考えて書いてください。

題目はできるだけ簡潔に願います。

(副題をつけるときは溶接学会執筆要領に従い間違いのないように記載して下さい)

著者連名の場合は、講演をする著者名の頭に○印をつけてください。

英文タイトル及び著者名は、次の例のように書いてください。

Study on Plasma Welding

by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワードは次の例のように 3~5 ワード書いて下さい。

キーワード: アーク, 凝固, 割れ, 疲労

Keywords: arc, plasma, physics

#### ロ. 本文

原稿用紙 (A) 12 行目から (B) いっぱいに原稿用紙のコマに

合わせて黒色で書いてください。また、タイプライター、ワープロ使用の場合、用紙の枠いっぱいにコマ数 (40 字×37 行) だけ打ってください。(全体の字数が超過しなければ、行数、一行の字数の多少の変動はかまいません)

オフセット印刷であることを考えて、文字、図表は鮮明に書いてください。

レイアウトに際しては、概要集全体の体裁を考慮して、行頭、端末の不揃いや枠のはみ出し・余白がないよう十分に注意してください。

文字の大きさは、刷り上がりが約 2/3 に縮刷されることを考慮して、大き過ぎあるいは小さ過ぎることのないようご注意ください。

大体、原稿用紙のコマに多少隙間をつけて書けば刷り上がりがかきれいになります。

### ハ. 図表及び写真

図表及び写真は、縮尺 (約 2/3) を考慮した大きさにして関連する本文の近い場所に貼付してください。

または、直接原稿用紙に書き込んでも結構です。図表挿入の際はくれぐれも枠をはみ出さないようご注意ください。

なお、顕微鏡写真など縮尺を記入する必要があるものは、刷り上がりが 2/3 になることを計算して記入してください。

図表及び写真には、Fig. 1, Table 1 などのように番号を付し、表題、説明 (Caption) は英文で書いてください。(写真は Photo でなく Fig. としてください)

### 四. 校正

校正は (著者、編集者とも) いたしませんから、誤字、脱字のないよう原稿の時点で十分注意してください。

### 五. 原稿の提出

提出期間内に PDF (原稿) を学会ホームページよりアップロードしてください。原稿提出期限を過ぎますと画面が閉鎖されアップロードできなくなりますので充分ご注意ください。

[原稿見本]

12pt, 明朝体

## プラズマ溶接の研究

10.5pt 日本工科大学 ○秋山 冬彦  
世界電機 夏川 春樹

10.5pt

### Study on Plasma Welding

10.5pt by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワード: アーク, 凝固, 割れ, 疲労    Keywords: arc, plasma, physics

本文 (12 行目から) →

10.5pt

本研究は、プラズマジェットを用いる溶接法について……

↑

1~2 字アケル

## Guide to Preparation of manuscript for the National Meeting

Manuscripts for the national meeting of JWS should be made with the manuscript papers designated by JWS.

Manuscripts are photographed without any proof-reading and reduced in size of about 2/3 for printing and published as "Preprint of the National Meeting of JWS."

### 1. Manuscript papers

The manuscript papers designated by JWS are available from JWS office.

The manuscript papers consist of two sheets, marked A and B, in A4 size. Letters and drawings on the sheets disappear in the printing operation.

### 2. Length of manuscripts

Title, authors names, affiliations, keywords, text, figures, tables, photographs, references etc should be written on the two sheets, more precisely within the outer frame drawing on the sheets.

### 3. Instruction for preparation

Manuscripts should be made clearly with a type writer or word processor with black ink.

Figures and tables should be clear even after the reduction for printing.

#### a) Title, names, affiliations

Title should be filled in the designated place of the sheet A. Authors names and affiliations should be filled in the lines between 3 and 7 of the sheet A.

Title is recommended to be informative and brief. Authors names are full first names followed by the initial of middle and family names. Affiliation is the name of the organization author is working with. Speaker is identified with a circle in the front of name.

Keywords (3~5 words) should be noted

#### b) Text

Text begins at the line 12 of the sheet A. Letters should be larger than 10 point. Line space is single. Text shall be arranged within the outer frame drawing on the sheets. Trade names should not be used.

#### c) Tables and figures

Tables and figures should be typed directly or adhered to the sheets within the outer frame drawing on the sheets. Photograph is classified as a figure. Tables and figures have the consecutive numbers and captions. Quantity is given in SI units.

### 4. Proofreading

Proofreading is not given by the editor

### 5. Submission of manuscripts

Manuscripts should be mailed to JWS office in an envelope, with a red note "Manuscript for the National Meeting" on its face surface. It is advised to put a hard sheet in the envelope to avoid any damage of manuscripts by bending during handling

— SAMPLE (reduced in size) —

12pt, 明朝体

## PLASTIC CONSTRAINT EFFECT ON FRACTURE BEHAVIOR OF A NOTCHED SPECIMEN WITH SIDE GROOVE PART I: ANALYTICAL CONSIDERATIONS OF THE STRESS FIELDS

MOHAMED EI-Shenawy, Fumiyoshi Minami, Masao Toyoda 10.5pt

Department of Welding and Production Engineering

Osaka University, Japan

Kazusige Arimochi 10.5pt

Sumitomo Metal Industries, Japan

Keywords: fracture, toughness, plastic constraint 10.5pt

10.5pt

### INTRODUCTION

10.5pt

Fracture mechanics approach is applied to evaluate the fracture strength of structure with respect to the unstable cleavage fracture, plastic constraint is believed to be a major factor

resistance because stress fields are strongly dependent on the constraint condition. Toughness of the material is decreased with increasing the degree of plastic constraint.

## 全国大会講演プログラム校正の電子化について

— ホームページ上での校正のみとなります。 —

全国大会運営委員会

「研究発表講演者」向け大会プログラムの校正を一部電子化(PDF化)し、ホームページ上での校正刷りの閲覧をしますので、ご協力のほどお願いいたします。

記

### 1. 校正開示

大会プログラムの印刷用版下が完了後、講演者宛に E メールにてご通知いたします。(校正刷りの郵送はいたしません。)万一事故等により E メールが未着の場合にも、6月下旬には開示いたしますのでご利用ください。

### 2. 使用ソフト

アドビ社製アドビリーダー、バージョン 4.0 以上(ウィンドウズまたはマッキントッシュ対応)

無料ダウンロードアドレス

<http://www.adobe.co.jp/produks/acrobat/readstep.html>

また、現在アドビリーダーバージョン 3.0 の方は 4.0 にアップグレードしてください。

3. 開示場所 <http://www.jpp.co.jp/yosetu>

### 4. 校正方法

開示場所にて閲覧し、ダウンロードのあとプリントアウトしてください。該当箇所を校正のうえ溶接学会宛 FAX (03-5825-4331) にて送信ください。E メールでの送信はご遠慮ください。

### 5. アドビリーダーの操作に関する問い合わせ先

日本印刷出版株式会社 クリエイトグループ

Tel: 06-6441-0075 E-mail: kobayasi@jpp.co.jp

## 全国大会における液晶プロジェクターの利用について

全国大会運営委員会

全国大会において、液晶プロジェクターの利用を希望される方は、下記の事項を遵守ください。

なお、パソコンは、発表者が各自ご持参ください。

記

全国大会運営委員会が準備する機器

- 1) 液晶プロジェクタ

発表者の準備するもの

- 1) パソコン
- 2) パワーポイントで作成した発表用のファイル

※休憩時間の間にパソコンの動作確認をしてください。

※講演中の操作は講演者側でお願いします。

## 平成26年度秋季全国大会フォーラム講演論文募集

主 題：界面接合、基礎から最先端技術まで

座 長：高橋康夫(大阪大学)、宮澤靖幸(東海大学)

松康太郎(東京プレイズ(株))、高橋雅士((株)東芝)

日 時：平成26年9月11日(木) 13:00~17:00 (詳細未定)

会 場：黒部市宇奈月国際会館「セレネ」

(富山県黒部市宇奈月温泉 6-3)

趣 旨：

電子産業、エネルギー産業、自動車産業など、各種産業分野の製造工程に、接合は活用されています。例えば、拡散接合、HIP、摩擦圧接のように固体凝着によって異種界面接合が達成されています。一方、ろう付、はんだ付の様な液相接合も多岐にわたり応用されています。さらには、溶射、表面処理等を施し、部品・製品の高機能化・高性能化を達成しています。界面接合プロセスでは、異種金属間の接合を対象とする場合が多く、接合部における脆弱な金属間化合物形成の問題、セラミックス/金属間接合における熱応力問題など、色々な問題が山積しています。一方、環境負荷低減、省エネルギー、資源循環、有害物質フリーを考慮した新界面接合技術の開発も重要視されてきました。界面接合、表面処理技術にかかわる問題を解決するためにも、その基礎と応用に関する講演や事例を互いに紹介し、界面接合の本質を深め、活発

に討論する場を設けたいと考え、本フォーラムを開催いたします。

つきまして、接合界面科学の基本知識に関する論文、応用例を紹介していただく論文を(計6~7件の講演)募集いたします。各講演を基に、様々な産業分野における異種材料界面接合科学技術について、基礎から最先端まで議論を行い、解決すべき課題について情報交換・意見交換を行う場としたいと考えています。

申込方法：

著者名、タイトル、概要(200字程度)、所属、連絡先を明記した上、メール(jws-ym@kt.rim.or.jp)またはファックス(03-5825-4331)にて、溶接学会事務局へお申し込み下さい。

申込締切日：平成26年3月26日(水)

講演採否：お申度いただいた講演の採否は直接申込者にお知らせ致します。

原稿締切日：平成26年7月8日(火)

(採択された講演者には、所定の書式に従って作成した原稿を、締切日迄に提出していただきます。提出いただいた原稿は、溶接学会全国大会講演概要集 No.95 に掲載致します。なお、講演時間は、1件約20分~30分程度を予定しています。原稿作成方法などの詳細は座長より連絡致します。)

## WEB掲載の溶接学会論文集31巻(平成25年)の印刷物の購入について

溶接学会論文集は、平成19年1月より印刷物での発刊に代わってホームページ上にてWEB版として発刊されております。

印刷物にて一年分を纏めたものを購入される方は、下記により、平成26年3月31日までにお申込み下さいますようお願いいたします。

溶接学会論文集31巻(平成25年)

(※特別論文 Visual-JW2012 の収録は含みません。)

【価 格】 15,000円/年1冊(税込・送料別)

【申込先】 「お名前(会社名)」「送付先住所」「冊数」をご明記の上、FAXにてお申込み下さい。

日本印刷出版株式会社

TEL: 06-6441-0075

FAX: 06-6443-5815